

令和5年度 ICTを活用した障害のある児童生徒等に対する指導の充実事業 (病気療養中等の児童生徒に対するオンデマンド型の授業に係る調査研究事業)

京都市教育委員会

現状と課題

病院や自宅で療養しながら学習を続ける児童生徒は、治療や体調面でやむを得ず授業に参加できない場合があり、対面授業や同時双方向型配信授業配信だけでは教育機会の保障として十分でない場合がある。



指導の充実 学習内容の補完 教育機会の保障

効果的なオンデマンド型の授業の在り方を検討

指導内容の精選

「桃陽スタンダード」
各教科ごとに指導内容を基礎的・基本的な内容に精選

精選した内容の教材を作成

体験活動

- ・ 病院外に出ることができない児童生徒に不足しがちな体験を補完する。
- ・ 360度カメラやテレプレゼンスロボットを活用し、児童生徒の主体的な姿を引き出す。
- ・ 復学時の不安を軽減する。

各教科の学習

実際の授業の録画

- 友だちの反応がある→学習意欲の向上
- 教員の負担が小さい
- 動画の時間が長い

例) Teamsの画面録画
授業風景撮影 etc.

事前作成した授業動画

- 動画の時間を短くすることで、視聴のハードルが下がる
- 他のオンデマンド型授業配信用の教材も活用
- 教員の負担が大きい

例) PPTで作成 etc.

児童生徒のニーズは？

教員の負担は？

- 【検証】
- ・ 児童生徒が主体的に学習に向かうための支援方法の検討
 - ・ 質問に対するフィードバック等、双方向のやりとりを通した出席確認・評価の方法の検討
 - ・ 児童生徒の教育的ニーズに合わせながら、教員の負担ができるだけ少ない方法でできる、持続可能なオンデマンド型授業配信の在り方を検討

成果 ～オンデマンド型の授業実践から～

- ・ 「オンライン国際教育」: 指導者と視聴→ 内容理解、指導者との信頼関係の深まり
- ・ 「復学に向けて」: エピソードやメッセージの視聴→ 不安の軽減、前向きな気持ち
- ・ 新しい視点(オンデマンド型の授業の研究)→ 他の授業・取組の見直し
- ・ ノウハウの集積→ 他の各教科等で活用

- ◆ 主体的に学習に向かう姿
学習保障+心理的な安定+対話的な授業
- ◆ 出席確認・評価方法
提出物+聴き取り→フィードバック
- ◆ 持続可能なオンデマンド型の授業
作成方法の共有、コンテンツの保存・活用等